



絵巻の世界

ひろげて、
まいて、あらわれる

令和6年度企画展示

写し、伝えられた物語の楽しみ



鳥羽僧正覚融絵巻 安達真速 写 明治26 (1893) 年



竹とり物語 [江戸前期] 写



源氏物語絵詞 和田正尚 写 明治44 (1911) 年

会場 国立国会図書館関西館 大会議室 (地下1階)

会期 令和6年11月15日(金)から11月29日(金)まで
※11月20日(水・資料整理休館日)、23日(土・祝)、24日(日)は休館

時間 10:00~18:00 (11月17日(日・関西館見学デー)は16:00まで)

入場
無料

掲載画像は、志貴山縁起 [江戸中期] 写、三十六歌仙絵巻 [土屋秀禾] 写 明治34 (1901)、
百鬼夜行絵巻 [江戸中期] 写 より

展示会案内ホームページ>>

<https://ndlsearch.ndl.go.jp/gallery/emaki>



第1章 絵巻で楽しむ物語

華麗な王朝文学から、合戦シーンが生々しい軍記物語、摩訶不思議なストーリーの寺社縁起や御伽草子まで、多様な物語と絵を、みどころ紹介と共に楽しみください。



蒙古襲来合戦絵巻 写

(左) 道成寺絵巻
[江戸後期] 写



(右) 八嶋
[江戸初期] 写



第2章 模写された絵巻のみどころ

模本ならではの楽しみ方、異界の独特な描かれ方など、物語の内容にとどまらない絵巻の魅力をご紹介します。国立国会図書館が所蔵する百鬼夜行絵巻は、数多くの模本がある中で、冒頭の詞書とそれに続く男2人が語り合う導入部の絵がある唯一のものとして知られています。



百鬼夜行絵巻 [江戸中期] 写



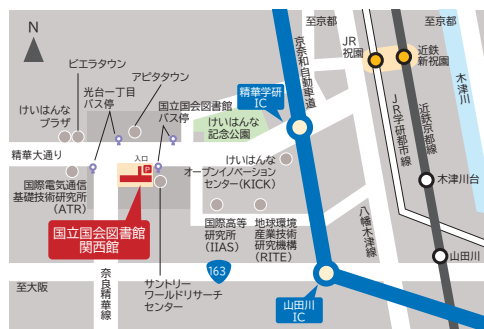
春日権現験記 板橋貴雄 写

ひろげて、まいて、ひろげて、まいて——。それを繰り返してあらわれるのは、雅な王朝貴族の世界か、はたまた風変わりな姫君や、空を飛ぶ童子が登場する世界か。いつの間にか、鬼や化け物が棲む異界へと引き込まれているかもしれません。

絵巻の多くは、人の手で写し、伝えられてきました。写す目的はさまざまで、有名な絵巻と同じものを所有したいと思う人もいれば、研鑽のために描き写す絵師もいたでしょう。絵師の腕や個性も相まって、実に多様な写し（模本）が生まれました。当館が所蔵する絵巻の多くは、そうして写し、伝えられてきたものです。

本展示では当館が所蔵する絵巻のうち約30点を展示します。

注 国立国会図書館が所蔵する主に近世以降に作成された模本の展示会です。貴重な1点物の資料ではありますが、重要文化財などの展示はありません。



- 近鉄京都線「新祝園駅」・JR 学研都市線「祝園駅」から奈良交通バス
 - ・36 番系統「光台循環」
 - ・56、58、59 番系統
 「学研奈良登美ヶ丘駅」行き
 「国立国会図書館」バス停下車
- 近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」から奈良交通バス
 - ・56、59 番系統「祝園駅」行き
 「国立国会図書館」バス停下車
- 無料駐車場・駐輪場あり

問合せ先

国立国会図書館関西館
〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3
電話 0774-98-1341 (関西館資料案内 9:30~17:00)

X (旧Twitter) >> @NDLJP

Facebook >> @NDLexhibition

Instagram >> @ndlimagebank

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。